

特定家畜伝染病担当者会議を開催しました

支援センターでは、5月13日（木）佐久合同庁舎で佐久地域特定家畜伝染病担当者会議を開催しました。これは、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した場合に備えて、県機関をはじめ関係機関・団体の役割分担等を確認するとともに当該伝染病に係る情報共有を図るために毎年開催しているものです。

今回は、近隣県での豚熱の発生や全国的に鳥インフルエンザが多発したことを受け、危機管理意識が高まる中での開催となりました。

人事異動により初めて出席した担当者もおり、防疫措置に係る連携体制やタイムラインを確認し、課題等について活発に意見交換を行うことができました。

佐久地域は県内でも畜産業が盛んな地域であり、大規模な養豚や養鶏農場が多いことから、今後も万が一に備えた防疫演習を実施するとともに、農場にウイルスを持ち込まぬよう、引き続き飼養衛生管理指導に努めてまいります。



緊急事態時の初動体制を確認する関係機関・団体の皆さん